



鈴木CEO

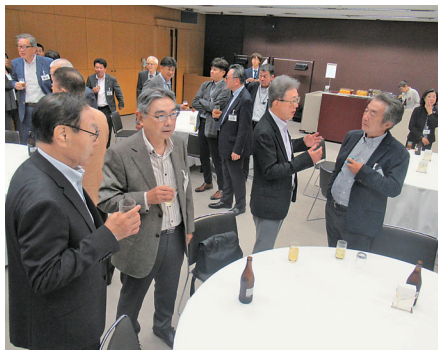
五十鈴グループ（鈴木勝CEO）は、グループに在籍し原則60歳以上で退職したOBを対象とする「五十鈴OB会」を発足。その第1回目となる懇親会を、21日に東京国際フォーラム（東京・丸の内）で開催し、総勢45人が参集した。

五十鈴の現役社員は、鈴木CEOをはじめ本社の執行役員クラス以上およびグループ分社拠点の社長が参加。また、この中には前社

長の鈴木貴士顧問の姿もあり、現役幹部やOBとの再会を懐かしみ、また、意義深い社員相互の懇親を図ると感じている様子だった。もに、会員と五十鈴ならび

五十鈴グループが「OB会」発足

初の懇親会に現役含め45人参集



懐かしい顔ぶれが一堂に

にグループ各社との親密な連携を深めることを目的に発足し、現時点でのOB会員は33人。定期的に交流会を開催するほか、グループイベントへの参加・協力を主な活動とする。冒頭、鈴木CEOは、OB会発足の意

義と経緯を述べた上で「OBの諸先輩と現役世代が思い出に浸りつつ、互いの近況などについても語り合ってもらえればと思う。今後とも会を継続していくので運営上のアイデアなどがあれば忌憚なく聞かせてほしい」と挨拶した。また、直近の業績や取り組み成果についても報告し、共有した。鈴木前社長も「皆の顔をみると、つい最近まで一緒に仕事をしていたことを思い出す。きょうは昔話に花を咲かせながら懇親を深めよう」と呼び掛けた。

大淵泰弘取締役副社長執行役員の発声で乾杯。歓談に入った。